2021年度 昭和大学医学部

新カリキュラム　報告

昭和大学

1年生　富士吉田キャンパス

科目　臨床実習Ⅰ（診察の基本）

医学生として患者に接するに際し，患者の立場を尊重しながら適切な医療面接と身体診察を行うために、医学生として相応しい態度で、必要な患者情報の聴取と基本的な身体診察の方法を理解し身につける.

4月21日　オリエンテーション＆医療面接
学生同士小グループで実習

5月26日　医療面接（オンライン）
教員が模擬患者役を担い指導

9月 8日　バイタルサイン・身体診察（胸部診察）
オンラインで解説

10月20日　バイタルサイン・身体診察（胸部診察）
対面で学生同士小グループで実習

11月17日　身体診察（腹部診察）
対面で学生同士小グループで実習

11月24日　OSCE
模擬患者さん10名に富士吉田キャンパスまで
お越しいただき、対面で医療面接・身体診察を実施

OSCE
①医療面接
②バイタルサイン測定
③胸部診察

①
② ③

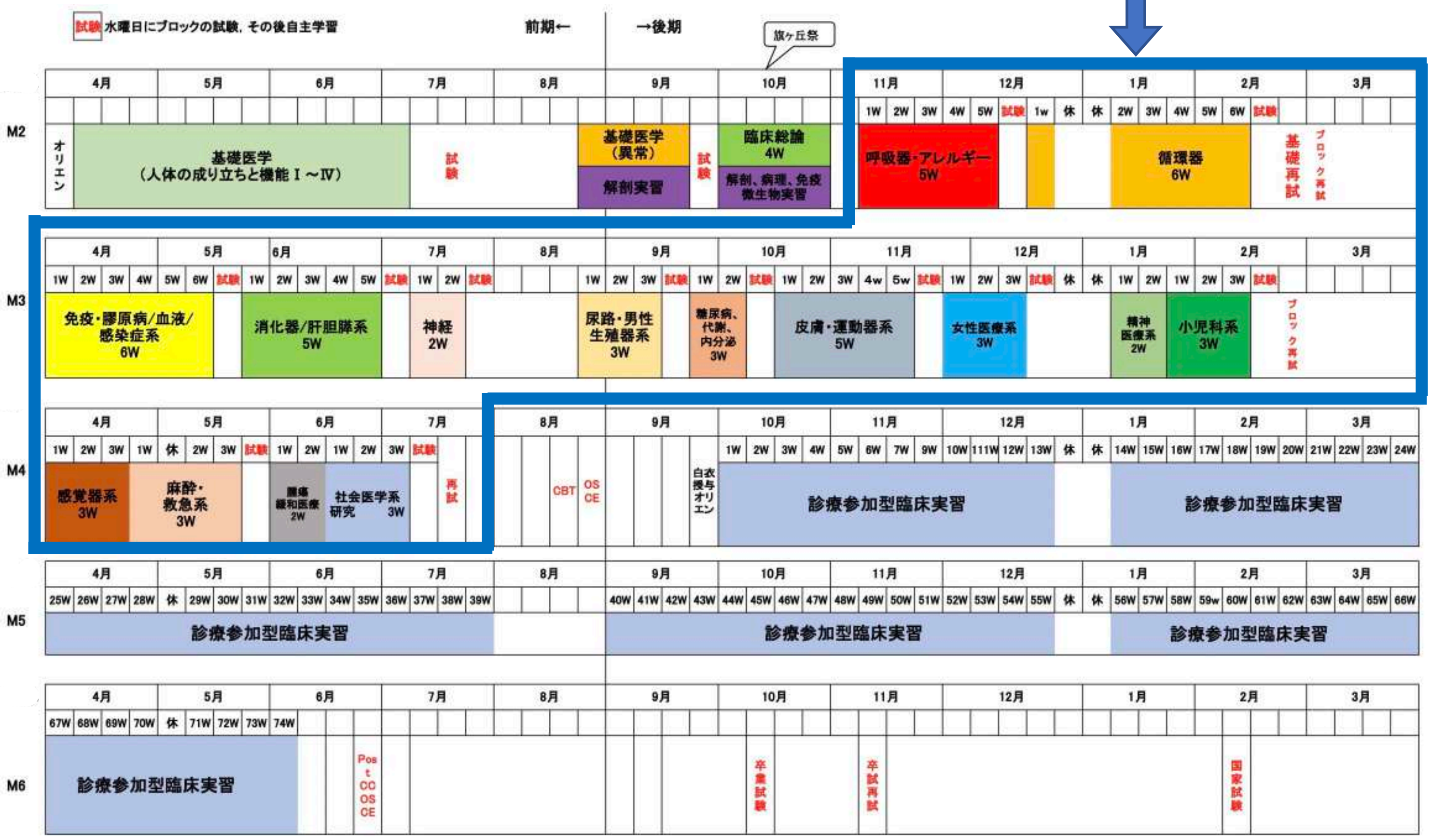
2年生　旗の台キャンパス

科目　基礎・臨床統合教育（2年後期～4年前期）

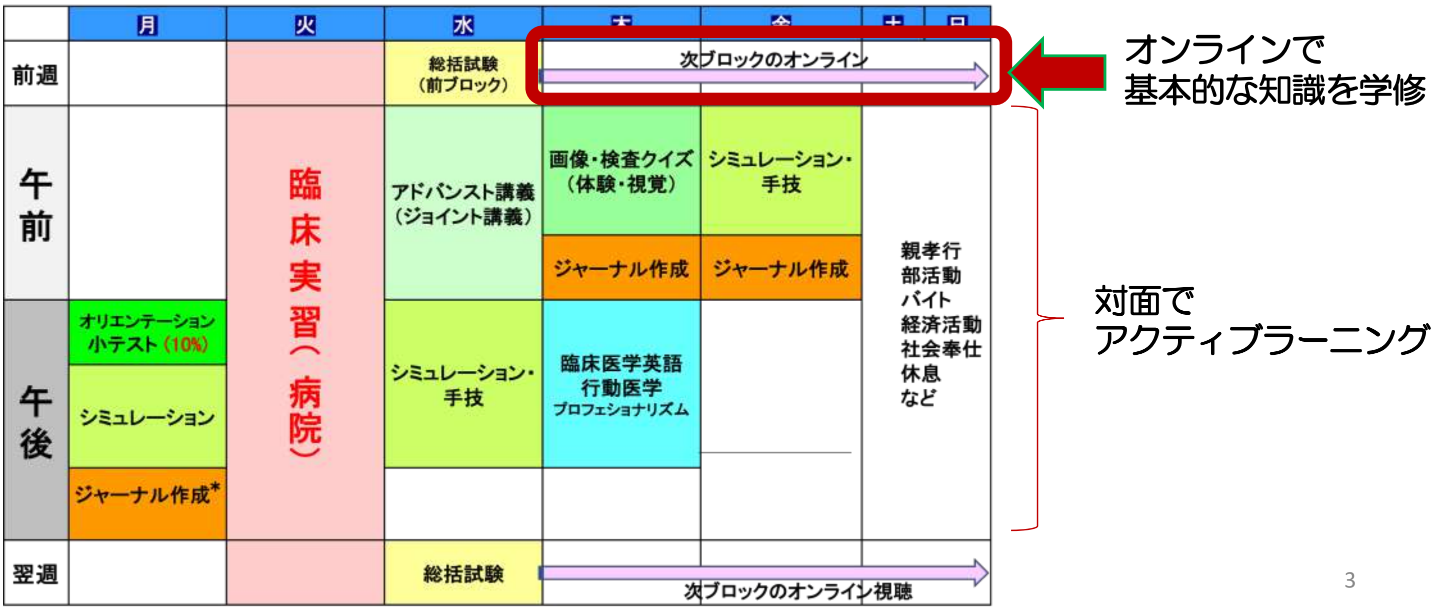
基礎医学と臨床医学を統合し、症例ベース、シミュレーション教育などを
ふんだんに使用し、ティスカッションを通じて、能動的、協同的に学びます。

カリキュラムカレンダー

基礎・臨床統合教育の期間



M2後期～M3前期　各ブロックフォーマット

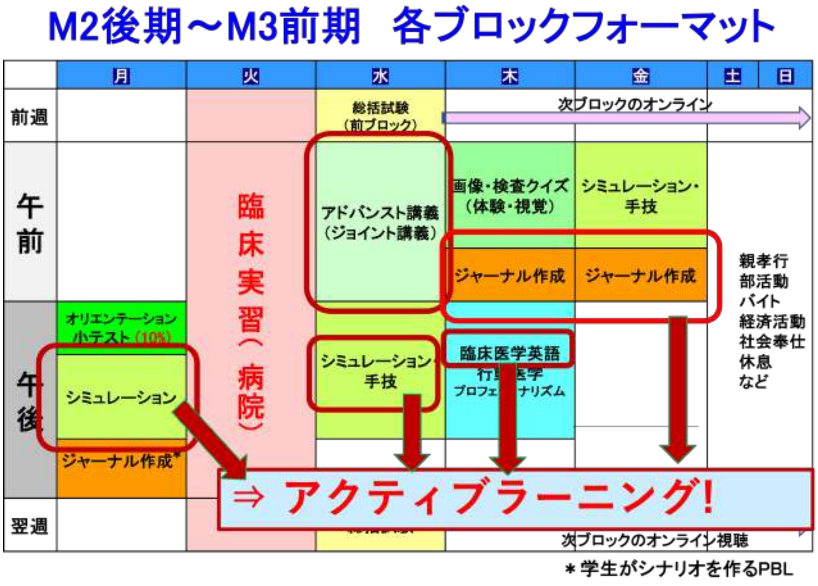


＊学生がシナリオを作るPBL

2年生　旗の台キャンパス

基礎・臨床統合教育　第1回
呼吸器系の病態・診断・治療　11月8日（月）から対面授業

〇内科学の基本となる病態生理、症候学、臨床推論について学修する。
〇呼吸器・アレルギー疾患の病態とくに難治化病態について学び、その最新の治療・管理について学修する。
〇シミュレーションやProblem Based Learning (PBL)の手法を用いて、自主学修やグループワークで臨床医学における問題解決能力を修得する。
〇医学部4年生時のOSCEや医学部卒業時に優れた臨床医として活動できるようなプロフェッショナリズム、専門技術職としての見識、倫理観、チームビルディングの能力を修得する。
〇国際的な見地に立って活躍できる医師となるため、医学英語を学修する。
〇電子機器や携帯情報端末を利用して、参考文献や各種ガイドラインを参照することでInformation and Communication Technology (ICT)を活用したリテラシーの向上について修得する。



〇ジョイント講義：基礎医学・臨床医学の各領域における最先端の内容を学ぶ

〇ジャーナルクリエーション（JC）

：各グループ別々のテーマにとりかかり、クラスで1冊のジャーナルを作成する。

10人前後で1グループ

①リーダー

②サブリーダー

③～⑩ 著者

を決める

呼吸器JC　テーマ

1. 難治性喘息
2. COVID-19
3. 耐性結核
4. 世界の死因3位 COPD
5. 薬剤性肺障害
6. 線維化する肺疾患
7. 肺がんの最新治療・展望

…など

中間報告会

最後に相互にプレゼン

ジャーナル
クリエーション

評価者 *Evaluator*
泉　美貴　先生（医学教育学）
飯塚　眞喜人　先生（生理学）
本間　哲也　先生（内科学）

座長・司会進行 *Chairman of the meeting*
鈴木 慎太郎　（内科学）

Agenda

■ 開会の挨拶	13:00
■ ルール説明	13:05
■ プレゼンテーション　前半	13:10
● 1班	13:10～
● 2班	13:22～
● 3班	13:34～
● 4班	13:46～
● 5班	13:58～
● 6班	14:10～
（休憩　約10分	～14:30）
■ プレゼンテーション　後半	14:30～
● 7班	14:30～
● 8班	14:42～
● 9班	14:54～
● 10班	15:06～
● 11班	15:18～
● 12班	15:30～
■ 順位発表　表彰式	15:45～

世界の死因3位COPD

〇シミュレーション教育

超音波シミュレーターで

超音波を学生同士で

〇シミュレーション教育

外科チーム　胸腔ドレーン挿入

胸腔ドレーン挿入

動脈血採血・血液ガス分析

〇シミュレーション教育

シナリオ演習

その他シミュレーション教育

気管支鏡

気管内挿管

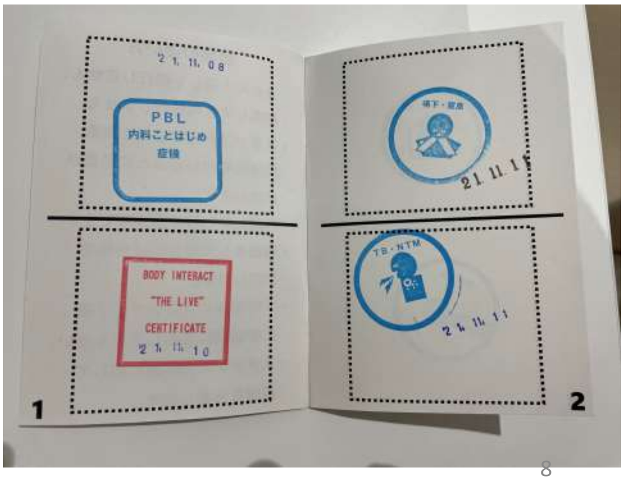
CPAP

在宅酸素吸入

呼吸機能検査

等

出席は不問
∵スタンプラリー



2年生 昭和大学病院・附属東病院，藤が丘病院・リハビリテーション病院 横浜市北部病院，江東豊洲病院

科目　臨床実習Ⅳ（全診療科実習）

各診療科の医師の診療の実際を観察することを通して、医師の患者・同僚・多職種への態度や関わり（プロフェッショナリズム）や各科に特徴的な診療の詳細を学ぶ。

M2～M4 毎週火 or 水曜日（M4までに全50週）

“合計50週の間に29診療科を約２回ずつラウンド”

ラウンド1（第1～25週目）：医2年後期～医3年前期
目標：「この診療科の先生は何をやっていますか？」
⇒各科の医師のプロフェッショナリズムを学ぶ

ラウンド２（第26～50週目）：医3年後期～医4年前期
目標：「この診療科ではどんな患者さんを診ていますか？」
⇒患者の思い・生活、疾病の特徴、治療、支援等を学ぶ

今期は2021年11月2日～2022年2月1日までの全10回
6病院29診療科(108か所⇒123名)の全科ローテーション
実習日に各科に学生1名が診療科長、教育担当者、指導医等のシャドウイングおよび各科の特徴的な診療の見学を行う。

１日のスケジュール例
昭和大学病院　〇〇科

ラウンド１(火)：「この診療科の先生は何をやっていますか？」
(各科の医師のプロフェッショナリズムを学修)

8:45-9:00	オリエンテーション
9:00-12:00	血液透析センターで担当医師のシャドーイング/学修シートの作成
12:00-13:00	（昼食：指導医のスケジュールに合わせて）
13:00-16:30	病棟診療
16:30-17:00	1日の振り返り、事前学習課題の確認
17:30-19:00	医局チームカンファレンス（希望者のみ）

○臨床実習Ⅳ（全科臨床実習）の実際

○臨床実習Ⅳ（全科臨床実習）の記録①（例）

臨床実習Ⅳ学生入力フォーム：（スプレッドシート①）

時間（午前）、	経験したこと、疑問に思ったこと、わからない言葉 など	経験に対する感想・コメント・新たな疑問点など
10:00	・内シャントとは？	⇒血液透析用のブラッドアクセスのこと。
10:30	・HD, PD, アクセス、カテーテルの用語の意味や区別ができなかった。	⇒症例検討会やコメディカルとの会話でもそのような専門用語が頻用されていた。それぞれ略語の意義が理解できた。
11:00	・透析患者さんの血圧が下がり気分不快を訴えられていた。	⇒透析中の血圧低下は代用的な合併症であることが分かった。
11:30	・腎臓内科の医師が頻繁に血液浄化センターに出入りし、患者さんの状態を確認していた。 ・透析施行中の患者さんにも話しをうかがった。	⇒透析患者が安全で快適に血液透析療法をできるよう、先生達が様々な配慮をしていた。 ⇒患者の苦悩を傾聴した。特に穿刺時の苦痛や血液透析が週3回・4時間も要することが大変とのことであった。

実習中/後に電子的に入力（経験・知識・症例を蓄積）

〇臨床実習Ⅳ（全科臨床実習）の記録 ②, ③

経験症例：（スプレッドシート②）：【提出期限】 2月8日（月）

臨床実習Ⅳチェックシート2（経験症例）

経験症例	① 2021.11.2	② 2021.11.9	③ 2021.11.16	④ 2021.1130	⑤ 2021.12.7	⑥ 20

経験手技・検査：（スプレッドシート③）：【提出期限】 2月8日（月）

臨床実習Ⅳチェックシート1（経験手技・検査）

経験した手技・検査	① 2021.11.2	② 2021.11.9	③ 2021.11.16	④ 2021.1130	⑤
血圧測定					
脈拍					
呼吸数					
動脈血酸素飽和度					
体温測定					
耳鏡					
鼻鏡					
眼底鏡					
基本的婦人科診察（内診）					
乳房診察					
直聴診察					
前立腺触診					
高齢者のADL評価					
高齢者の総合機能評価					

〇臨床実習Ⅳ（全科臨床実習）の評価

（教員Google form用）

月　日　　病院名：　　　診療科：　　　担当教員：

担当学生・概略評価

6	5	4	3	2	1
□	□	□	□	□	□

概略評価は６段階で、６～３が合格、２～１が不合格（フォローアップ対象者）

評価コメント（所見：事前課題、実習態度、学修への姿勢等）：

学生への メッセージ：

教員 ⇒ M2学生

評価コメント（事前課題、実習態度、学修への姿勢等）*

事前課題も適切に行えており、目的意識を持っていた。患者さんへの対応やコメディカルへの対応もよかった。後半は明るく自分の意見も出せていて、双方向のいい実習ができた。

学生へのメッセージ

海外留学の希望や夢がると。visionをもってこつこつ頑張ってください。そのひたむきさと明るさを大事にしてください。レポートも提出してくれてありがとうございました。

その他、「臨床実習Ⅳ」に対するコメントを自由にご記載下さい。

最後、学生自身がやる気がわいた。勉強して早く医者になりたいなどの発言がみられたので、いい実習だったと思います。